

平成28年
9月定例会

一般会計補正予算(第2号)等の議案を可決

平成28年第6回(9月)定例会は、去る8月30日から9月16日までの18日間の会期で開かれました。今回の定例会では、「平成28年度石垣市一般会計補正予算(第2号)」等の補正予算議案9件、「平成27年度石垣市一般会計歳入歳出決算認定について」等の決算認定9件、その他議案6件の計24件の案件が市長より提出され、それぞれ原案のとおり可決・同意・認定・承認及び報告されました。

なお、本会議の議決にあたり、総務財政委員会には、「平成28年度石垣市一般会計補正予算(第2号)」等2件の議案を付託。経済民生委員会には、「平成28年度石垣市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)」等8件の議案を付託。建設土木委員会には、「石垣市公共下水道石垣西浄化センターの建設工事委託に関する協定について」等11件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決・認定及び同意すべきものと決定されました。

また、12日の一般質問の前に、知念議長に対する不信任決議案が動議で提出され、無記名投票の結果賛成少数で否決されました。その他の議員提出議案については、「返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書」等3件の意見書と「過去最大規模となる中国公船と中国漁船による尖閣諸島周辺海域の領海侵入及び漁業活動等への要請決議」等3件の決議が提出され、それぞれ可決されました。

9月12日から9月15日までの4日間の日程で行われた一般質問では、16人の議員が本市の諸課題について質すなど活発な議論が交わされました。

消防伊原間出張所移転新築
平成28年度一般会計
補正予算(第2号)
可決

9月定例会では、総務財政委員会(平良秀之委員長)に「平成28年度一般会計補正予算(第2号)」等2件の議案が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

今回の一般会計補正予算は、既決予算の総額に歳入歳出それぞれ10億4524万7千円を追加し、予算の総額を27億4550万6千円と定めるものです。

その主な歳出の内訳としては、総務費で「財政調整基金費」3億8386万5千円、「庁舎建設基金費」3億円、民生費で、保育士確保対策総合事業」540万円、「離島保育士確保対策事業」1895万円、農林水産費で「水産加工施設機能強化支援事業」3600万円、消防費で「消防伊原間出張所新築工事」1億2480万円、教育費で子ども貧困対策の取り組みとして



現在の消防伊原間出張所

「児童生徒援助費」1011万7千円などが計上されております。

現消防伊原間出張所は老朽化に加え、海岸近くにあることから、今年3月に修正された地域防災計画で高台移転を盛り込んでおり、新築場所は現出張所から700メートル北方で海拔40メートルに位置し、年度内の完成を目指しております。

また、経済民生委員会(大石行英委員長)及び建設土木委員会(砥板芳行委員長)においてもそれぞれ特別会計補正予算や決算認定等が付託され、慎重審査の結果、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決定され、本会議において委員長報告のとおり可決されました。

今定例会最終日には、議会

運営委員会、三常任委員会の改選を行いました。新たな委員会構成は次頁のとおりとなっております

待機児童解消へ
保育士支援事業創設

待機児童解消に向けた保育士確保策として、次の5つの補助メニューが創設されました。

誘致促進策としては県外から石垣市に就職する保育士に50万円、同じく県内からは40万円の渡航費や生活準備費の補助、保育士の宿舍を借り上げている保育所に4万5000円を補助する宿舍借り上げ支援。再就職支援策としては過去6カ月間以上保育士として働いていない保育士の就職に対して30万円の就職準備金の支給や未就学児を抱える保育士の復職に対して保育料を半額補助、その他認可保育の保育士に月額5000円、保育補助者に3000円を支給する給与上乗せ補助があります。

本市の目指す来年度の待機児童ゼロの実現へ積極的な活用を呼び掛けております。